



市保連 だより

2022
(7月)

[第515号]

令和4年7月1日発行
一般社団法人熊本市保育園連盟

発行責任者 上野 誠之

調査広報委員会

委員長 今村 弘之
委員 緒方 隼人 沖田 照生
宇治 正信 豊田 亮
角田 信也

〒860-0004 熊本市中央区新町 2-4-27
熊本市健康センター新町分室 2 階
TEL(096)322-0096

「理事長拝命にあたり」 理事長 上野 誠之

令和4年度5年度一般社団法人熊本市保育園連盟の理事長を引き続き拝命いたしました。2年前に理事長に就任して、フレッシュな役員とともに、前例踏襲にとらわれることなく、新たな視点での展開を図ることができればと掲げてきましたが、コロナ禍で連盟運営においても会員の皆様にとっても充実した満足のいくことには繋がらなかったと感じています。研修会も延期や中止、体制を変更してオンラインでの研修などに切り替え行ってきました。また、課題でもある連盟の催事、特に連盟全体で取り組んできた火の国まつりへの参加は、祭り自体の中止により参加も取りやめました。福利厚生事業として取り組んできた体育祭もコロナ禍、ウォーク&クイズラリーとして福利厚生色を強めて取り組んではみましたが、時代背景、会員のニーズには十分応えることができなかったと受け止めています。会員の皆さんがこぞって参加したいものにならなければ、参加も厳しいものになってしまいます。参加するための曜日や時間帯、場所も課題であり、休日確保の問題も影響しています。月曜日から土曜日まで朝7時から夜7時までの開所がほとんどの施設で、1日8時間、週40時間勤務である職員で、週72時間の開所時間を複数で、子どもに対する配置基準を満たした形で運営することは以前から課題とされており、各施設でそれぞれに働き方の工夫をするだけの話ではないと考えています。職員研修も同じです。研修のための時間の確保、オンライン等の研修においても勤務時間帯に時間が確保できるよう配慮しなければなりません。実際には多くの施設で苦慮されています。これらはこれまでも課題とされてきたことでもあります。保育の現場の課題は、制度であれば国に、運用であれば市町村に対して意見の言える組織でありたいと思います。もちろん、1施設で声を上げて聞き置かれるだけであり、組織として対応していかななくてはなりません。

いよいよ子ども家庭庁創設にあたり、様々な内容が盛り込まれるものと思います。昨年度の出生数81万人、少子化は加速しています。都市部の一部を除き、数の対応から少子化への対応が急務です。もちろん各施設の運営に関わる大きな課題です。子どものこと、保育のこと、職員のことしっかりと盛り込まれるよう願うところです。今後も会員の皆様の協力を仰ぎながら展開していく所存です。どうぞよろしくお願い致します。



「さらなる飛躍を」 副理事長 業務執行理事 小川 英聖

令和4年5月28日の5月通常総会において理事に選任され、その後の臨時理事会で理事長より副理事長を拝命しました幼保連携型認定こども園ひでみ保育園の小川英聖です。今後2年間よろしくお願いいたします。私の担当する委員会は、総務委員会・人材委員会・予算対策委員会・園長委員会です。旧経営総務委員会は総務委員会に名称を変更し、制度に関する部分を予算対策委員会に移し、主に組織のあり方・労務等の対応・表彰部分の業務を行います。人材委員会は様々な媒体を利用し会員のための人材確保に努めます。予算対策委員会は会員の皆様の意見を招集し、また関係機関との連携を図り、国の制度に係る予算要望に関する早期の情報提供を行います。園長会は各ブロックの連携深め、ブロック園長会での意見をまとめ、情報の共有を図ります。



全体の課題としては、令和3年度において積み残しているブロックの再編、組織の見直しがあると思います。ブロックの再編についてはブロック間の会員数、そしてそれに伴う役員数の問題が挙げられます。組織の見直しについては、各委員会の事業・業務の見直しが必要かと思います。連盟の理事会全ての委員会と共同し、理事長が令和4年度の事業計画の最後にかかれた、「組織の永続」に繋がるよう会員の皆様の意見を拝聴し、今後2年間組織のために尽くしたいと思います。



「副理事長就任のご挨拶」 副理事長 業務執行理事 岩男 慎治

この度図らずも、連盟副理事長の職を拝命いたしました。もとより浅学寡聞、理事として二期目の経験しかなく、力不足ではありますが、歴代役員の功績を汚すことの無いように努めてまいります。園長先生また、会員の皆様宜しくお願い申し上げます。



副理事長は理事長を補佐し、連盟の業務を分担し執行するとあります。連盟定款にある事業を、理事長、理事の皆様と協力して職分を全うしていきたいと存じます。

担当は、催事担当、調査広報委員会、立田山野外保育センター運営委員会、研修委員会、保育士会、給食部会となります。各委員会の活動をサポートするのが職務とわきまえ、各園、各会員の保育活動に資するものを幅広く提供していきたいと思います。

先ずは、連盟全体を「観見(とけん)※つぶさに見ること」から始めて、為すべき事を見極め、連盟や未来を担う子どもたちのために、微力ながら貢献したいと存じます。

「専務理事就任にあたって」 専務理事 鬼塚 和典

役員改選においてご承認いただき、令和4・5年度の専務理事を再任することとなりました。前期は本当に何もわからないまま理事長をはじめとする役員の皆様に助けられ、そして会員の皆様の温かいお支えの下、何とかやってまいりました。心から感謝申し上げますとともに、皆様にはたくさんのご不便とご迷惑をおかけしたことで反省しております。全国を見ても子ども家庭庁の創設や、各種法律の改定など、保育業界を取り巻く環境もしっかりと注視をしていく必要があります。熊本市においては障がい児保育加算の改定がようやく行われました。今後もしっかりと保育業界の地位改善のために努力していきたいと思います。



連盟においては残念ながら今年度も新型コロナウイルスの影響は残ったままの会運営になると思います。しかし、このような状況下での研修やその他の事業の運営のやり方も、少しずつですが、前進してきています。連盟としてどれだけ会員の皆様のお力になれるのか、しっかりと議論をし、上野理事長を支え、役員や委員会の組織改革を行い、会員の皆様がやはり入っていて良かったと思えるような連盟の活動を行っていきたいと考えています。

会員の皆様のご意見、ご要望がしっかりと反映され、開かれた理事会、信頼される組織運営のために、是非忌憚のないご意見、ご指導をいただき、また、今後とも当連盟の組織活動にご協力いただきます様、お願い申し上げます。



「就任のご挨拶」 催事担当理事 三浦 弘文

新型コロナ感染症の拡大により、過去2年にわたり連盟の行事は大きく影響を受けました。先般3年ぶりに保育研究大会が開催されています。講演会では保育を取り巻く現状、今後の展望等の話を聞く機会となり、さらには研究発表が行われるなど、実に多くの学びを得ることができました。

保育者が集い、学び、分かち合う意義、その楽しさを再認識できた瞬間でもありました。



さて今回、保育研究大会を含め、連盟催事全般を担当させていただくことになりました。新しい部署ではありますが、業務の遂行には理事会メンバーをはじめ連盟会員一人一人の力が必要です。各園長先生のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。会員各位への学習機会の提供と、会員であることのメリットを感じていただけるような取り組み、社会にアピール出来るようなイベントのプランニングができれば幸いです。

今年「保育従事者にエールを！」を実現します。連盟初のイベントとなりますが、コロナで昨年度から延期されていたものです。保育現場の先生方への応援企画、どうぞご期待ください！

「最小限で最大に」 総務委員長 板井 景子

今年度から委員会名が「総務委員会」と名称が変わり新たな気持ちでその役割の大きさを感じております。平成 30 年・令和元年度は委員長の経験もありますが、専門的な知識を求められることも多くその大変さを実感しております。



さて、新型コロナウイルス感染症により園の生活が一変し、本当に必要なものだけに絞り込まざるを得なくなりましたが、工夫しながらなんとか園の運営を行ってきました。反対に新しい業務も加わり、日々の生活は相変わらず慌ただしく過ぎていきます。今後、少しずつ日常が戻っていくことになっても、日々の過ごし方や行事については本当に必要なものなのかを問いながら進めていきたいと思っています。このたび任命を受けました「総務委員会」についても必要とされるものの見極めを行い、委員の皆様の持ち味と知識を活かしながらそれにかかる時間と労力を最小限で最大のものにしていければと思っています。

少しでも会員の皆様のお役に立てるよう 2 年間務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



「信頼される人材として」 人材委員長 新美 美穂

近年の保育施設を取り巻く環境は実に多様化しています。少子化、人材不足、地域格差、所得格差、加えて先の見えないコロナ禍の生活。不安は大きいです。

しかし、子どもたちは日々成長しています。子どもとご家庭に寄り添い、共に過ごす私たちも、希望を持ち成長しながら、誠実にこの仕事を全うしたい。働きやすく、長く続けられる職場でやりがいのある貴い仕事をしたいと、どなたも思っておられることでしょう。



今年度は、園を知ってもらう取組みとして、連盟求人サイト『保育のなかま』のさらなる活用、夏休みを利用した「高校生の保育士体験」、秋には「就職フェア」などを with コロナの中で工夫しながら発信していきます。

また、人材委員会は人材確保だけでなく、他の委員会と協働して労働環境や人材育成についても視野に入れて活動していくことが望まれています。人材は「人財」とよく言います。豊かな宝にしていくために、一つ一つを丁寧に行い、連盟加盟園の運営の一助となるよう努力したいと思います。

「理事就任にあたり」 書記・人材委員 池松 克佳

皆様こんにちは、梶尾保育園の池松克佳です。梶尾保育園は、合志市と隣接する地域にあり、竹やぶや畑に囲まれています。近くには梶尾温泉があり、温泉が出る地域としても知られています。民営化して 8 年目を迎える保育園です。



この度熊本市保育園連盟の理事(書記・人材委員)として承認いただきました。園長の経験も 2 年目と浅く不慣れではございますが、皆様のご指導を仰ぎながらお役にたてるよう努めてまいりたいと思います。

職務といたしましては、書記では主に理事会等における議事録作成などが中心となります。人材委員では新美先生とともに人材確保や人材育成などに力を入れていきたいと思います。また、養成校ともコミュニケーションを図り、現在の保育園や認定こども園の現状や学生のニーズなどを把握し、スムーズな就職につながるよう力になればと思います。前年度からは「保育のなかま」におきましては、求人のあり方を変更し、よりタイムリーに使いやすくしていただきましたので、引き続き必要とされるような仕組みづくりに取り組みたいです。今回のような職が自分に務まるか非常に不安ではありますが、がんばって参りますのでよろしくお願いいたします。



「これからもよろしくおねがいいたします」 予算対策委員長 硯川 和歌子

まさかまさかの3期連続の予算対策委員会配属となりました。

この4年、歴代理事長・副理事長・専務理事のお力に頼りながら、難しい用語に眉に皺を寄せつつ向かい合っていました。はじめて理事に就任して以来10年、研修委員会・経営総務委員会・園長委員会を経験したことや、熊本市保育推進連盟の役員を兼任したことも、私なりの予対活動を行う糸口となっています。



制度の文言(言い回しや記述内容)には、まだまだ振り回されることばかりですが、正しい情報をお伝えすることを心がけて、自分で理解できないことは、時には保育幼稚園課に確認し、時には国の機関に照会しながら取り組んで行きます。また、国の事業を一つでも多く熊本市で取り上げてもらうために、熊本市議会議員保育議員団の方々との連携をさらに密にしていきたいです。

何よりも、いつも園長先生方からのご意見等に助けいただき感謝しております。引き続き、今期もよろしくご協力をお願い申し上げます。

「就任への心構え」 予算対策副委員長 藤川 顕彰

この度、通常総会にて理事・予算対策副委員長として選任されました。微力非才の身ではありますが、皆様のご指導、ご鞭撻を賜り、職務に尽力いたしたいと思ひます。まずは、硯川委員長からご教示いただきつつ、更なる教育・保育の質と量の向上のために事に当たっていこうと思ひます。

私事で恐縮ですが20年ほど前に、「若い」ということに関して、ある先輩との印象深いエピソードがあります。次のような質問を投げかけられたのです。「君は日頃よく若いといわれるだろうがその理由を知ってるのか？」私は、その質問の意図さえわからず「わかりません」と答えますと、「それはあなたに若いところしか褒めるところが無いからだ。」と。その時の私は失礼だなという思いと、図星をつかれ何も言い返せない思ひの複雑な心境で、何も答えられませんでした。先輩がこう続けられたのです。「でも、その若さが何物にも代えがたい今の君の現在の長所ですよ。私はいま60歳だがまだまだ私も若いと思ひてます。お互いその若さを存分にこれから発揮していこう。」

あれから20年たった現在、新理事となり多くの皆さまから「若い」という言葉で励ましていただいております。その言葉をまだまだ未熟な自分自身への自覚とこの2年間の精進へ後押しの言葉として受け取らせていただいております。



「理事就任にあたって」 調査広報委員長 今村 弘之

令和4年度、5年度の理事、調査広報委員長を務めさせていただくことになりました、みのり保育園の今村弘之と申します。このような役をいただき大変恐縮な思ひと前任の松下企画広報委員長の様に活動を進めていくことができるのだろうかという不安があるのも正直なところですが、務めさせていただく以上は皆様に少しでも興味関心を持っていただけるような調査広報活動を行っていきたいと思ひております。



これまで前任の松下企画広報委員長にご指導をいただき、企画広報委員を2年間務めさせていただきました。振り返ると委員会では活発な意見交換が行われ、市保連だよりの検討や編集を通して沢山のことを学ぶことができたと思ひています。業務執行理事、委員長、ブロック選出の委員の方々、原稿依頼等に協力をいただいた方との交流、活動が私にとって、とても大切な時間となりました。委員会で検討を重ね、アイデアが形になり、見ていただける方に喜んでいただけたことに喜びを感じることができたことは貴重な経験となりました。これから2年間、委員長として、これまでの企画広報委員会を引き継ぎ、新たな委員の方々と皆様のためになる、楽しい活動ができるように努めていきたいと思ひます。まだまだ未熟です。色々なご意見をいただけると有難いです。2年間どうぞよろしくお願いいたします。

「自分なりの勤儉力行を目指して」 研修委員長 山崎 敬太郎

令和 4 年度、5 年度の理事を拝命いたしました、やまなみの山崎ですどうぞよろしくお願いいたします。

研修委員会といえば前任者の矢野先生、宮本先生のご活躍の功績が大きく、また、委員の先生方もそれぞれの役割に沿って活動され、当連盟の大きな柱である研修事業全体が飛躍的に拡充したと認識しております。そのように成長してきた委員会を引き継ぐという事に、正直大きな不安を感じておりますが、前年度まで研修委員として実践しておられた八高理事に、副委員長としてお力添えをいただけることを心強く感じております。

すでに 6 月中旬からキャリアアップ研修がスタートしており、「食育・アレルギー対応」「保護者支援・子育て支援」「幼児教育」「保健衛生・安全対策」の 4 分野の研修を行います。募集の方は終了し全ての定員を満たしております。これも各園、各職員の自己研鑽や自己実現に対する高い意識の表れであると感じています。目の前の笑顔を守り、輝く未来へはばたく子どもたちに寄り添い見守る専門家として、自分にできる事、自分にしかできない事を見つけていただきたいと思います。それでは 2 年間よろしくお願いいたします！



「研修副委員長任命」 研修副委員長 八高 雪枝

私が園長になって 5 年目になります。西部ブロック園長会の諸先輩方から「頑張って勉強しておいで。」「いい経験になるよ。」と、温かい言葉で理事候補者として送り出していただきました。そして今回、理事として研修副委員長に任命していただきました。

研修委員として 4 年、矢野先生の下でキャリアアップ研修、新任研修、その他の研修を委員として努めることができました。

研修は保育園連盟だけではなく、他の機関(全国保育協議会等)の研修もあります。各保育園における保育の課題への的確な対応や、専門性の向上を図るために園長先生方をはじめ職員の先生方が選択される研修として、魅力ある、実践できるなどの内容を充実させ「参加したい。」と思える研修をと考えております。保育士会、給食部会とも連携を取らせて頂き、これからは熊本市保育園連盟の職員にとって質の高い研修内容が継続できるように委員長を筆頭に研修委員会が一丸となって計画していきます。また、私自身の人間性が成長できるように励んでまいりますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



「輝け！保育者」 保育士会会長 鬼木 紀代美

保育士会会長の鬼木紀代美です。

先ずはこの2年間、大変な思いをしながら子どもたちの育ちを守り、保護者の子育てを支え、社会の維持のため保育を続けてこられた全ての先生方に感謝いたします。ありがとうございます。保育士会会長として初の3期目、熊本市保育園連盟保育士会が『現場が楽しい、専門職として輝く保育者の』になるよう高い志しをもって活動していきたいと思います。

令和4年度は『with コロナそしてSDGs～保育者が未来を創る～』をテーマにブロック保育士会とも連携し、実技研修や指針及び教育・保育要領、厚労省のガイドライン等保育の基礎から医療的ケア児等の保育、ハラスメントなど子どもを取り巻く新しい課題まで研修を計画しました。コロナ禍エッセンシャルワーカーを支えるフロントラインワーカーとして注目をされた私たち保育者です。自信と誇りをもって「専門職です」と言えるように一緒に学んでいきましょう。なにより今年は直接顔を合わせ、対人援助職として場を共有し、語り合い、共感性を高め、笑顔を交わしていきたいなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



「ともに学び合う場の充実に向けて」 保育士会副会長 沖田 昌子

この度、令和4年度の保育士会副会長を務めさせていただくことになりました、幼保連携型認定こども園 きよめ子どもの家の沖田です。

私は令和元年から令和2年まで中央ブロックの保育士会で役員を経験したおかげで、保育士会の活動や研修会にたくさんのご縁をいただきました。それまで、自園の保育以外になかなか目を向ける機会がなかったのですが、研修会に関わらせていただくことでいろいろな角度で保育を見直すことができました。

本年度、会長のご指導のもと、子どもたちの発達のお手伝いだけでなく、保護者支援にも力を入れて、保育者としての専門スキルを高めていけるような学びの場を、各ブロックの先生方と力を合わせながら作っていききたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



「給食部会会長として」 給食部会会長 宮村 由紀

この度、令和4年、5年度給食部会会長として活動させていただくことになりました。初めての大役でわからないことが多くありますが、諸先生方のご指導やご意見をいただきながら務めさせていただきます。

今年度の給食部会のテーマは「保育の中での食育」です。乳幼児期において「食育」とは、子どもの心と体を育てる大事なことと考えます。食育は、給食室の先生だけが行うものではありません。保育と同じように保育に関わる全職員が連携し協力してこそできるものだと思います。

コロナ禍で社会情勢が変化し、保育も変化してきました。マスク生活になり、保育士のマスクの顔しか知らない子が増え、給食も黙食で食べるようになりました。しかし、「食育」の大切さは変わりません。保育園では調理師の免許を持ち、主任保育士として働かせていただいております。保育士の経験を生かし、今年度のテーマ「保育の中での食育」に取り組んでいきたいと思っています。



「出席率向上を目指して」 園長委員長 佐土原 仁美

令和 4・5 年度の理事として 5 月総会で会員の皆様にご承認いただき、園長委員長を拝命いたしましたえのみこども園の佐土原仁美です。自分がこのような役に就くとは夢にも思ってもいなかった訳ですが、改めて振り返ってみると、園長就任から 8 年の年月が経過しており、我ながらその事実に驚愕。この年数であれば連盟の為に尽力すべきなのだと妙に納得してみたり、任命されてからの気持ちの変動が激しいのも事実です。



この役に決まった際、ある先生から「先生が担当するなら、園長会の出席率 100%にせなりたい」とお声をかけていただきました。全体園長会自体のスムーズな進行はもとより、各ブロック園長会内で上がった意見を集約し、園長会へと繋げるサイクルの徹底を行うこと。また、ここ数年で会議の開催方法も変化している中、出来る限り顔を合わせての世代間交流やコミュニケーションが図れる魅力ある場として、ブロック園長会や園長会自体が存在していくこと。これらのことが出席率の向上、更には出席率 100%へ繋がると考えます。これからの2年間、園長委員会の円滑な運営を目指すと同時に、出席率向上を目指し、会員皆様のご協力をいただきながら邁進してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

「子どもが笑顔になれる場所に」

立田山野外保育センター運営委員会 運営委員長 園田 孝信

雑草の森も紫陽花の花が大輪を咲かせております。今年度、立田山野外保育センター運営委員長に就任いたしました。この間、雑草の森の管理運営にご尽力いただいた先輩方や、清掃活動・イベント等でご協力いただき保育士・栄養士等の先生方に心からお礼申し上げます。



子どもたちが自然の中で、のびのびと立田山の自然とふれあい、主に就学前児童の心身の健康と豊かな個性を育むことを目的に開設した「雑草の森」も今年で 20 年目を迎えました。5 月 1 日に開催しました「開設 20 周年記念雑草の森まつり」へは約 900 名の方にご来場いただき楽しい森の時間を過ごしていただけたと思います。

今年度は、昨年審議会、立田山野外保育センター基本計画策定委員会等でご協議いただき作成しました「立田山野外保育センター基本計画」に基づき運営してまいりたいと考えております。具体的には、雑草の森は立田山の豊かな自然の中に設置された立地的優位性を生かしながら、自然とふれあう機会が少ない子どもたちに、ここでしか体験できない活動を支援できる体制づくりを構築したいと思います。また、雑草の森は、開設から 20 年目を迎え、施設の老朽化が進み、大規模改修を含む修理・修繕が必要となってきましたので、計画的に実施したいと考えております。

今後とも、子ども達がもっともっと自然と遊び、四季折々の自然と触れあえる「雑草の森」となるよう頑張りたいと思いますので、皆様方のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

「就任のごあいさつ」 熊本市保育園連盟事務局長 緒方 宏行

このたび、熊本市保育園連盟の事務局長に就任いたしました、緒方宏行と申します。私は、今年の3月で36年間勤めた熊本市役所を定年退職したばかりです。市役所のなかでは、文化振興や青少年育成、コンプライアンス、まちづくり、環境分野など幅広く携わって参りました。どの部署も大変でしたが、職場の上司や同僚に恵まれ、やりがいを持って仕事をすることができました。仕事を通じて多くの人と交流し、新しいことを学ぶ機会を得たことが、今考えると素晴らしい財産となっております。



私は、若い頃から野球に親しみ、職場でも早起き野球に出場していました。今は、スポーツ観戦（主に TV）や YouTube を観て過ごすのが好きです。しかしながら、運動不足か、年を追うごとに身体が硬くなり、筋力も低下しています。「柔軟性を持ちたい、何とかせねば」と、ストレッチポールとマットを横に自戒する日々です。

また、この度の事務局長の就任に際して、福祉や保育に深い縁を感じます。実は、私の娘は県外で保育士をしていますし、妻も社会福祉士として高齢福祉に携わっています。これから、各園の皆様方と行政との連絡や調整など、連盟の運営を円滑に遂行できるよう、微力ではございますが頑張っまいますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「監事を拝命して」 熊本市保育園連盟 監事 岡 龍介

令和4年5月28日に開催されました、熊本市保育園連盟総会において皆様にご承認いただき監事を務めさせていただくこととなりました。

私が初めて監事を拝命させていただいた8年前は、保育所に関わる問題として主に大都市圏を中心とした「待機児童問題」が大きな問題でした。そして今、大会から一週間後の6月4日付の朝日新聞朝刊の第3面には「少子化 保育現場に危機」との見出し、1面の3分の2を占める大きさで、先般の保育研究大会で講師を務めていただいた坂崎先生の園を事例として、少子化の波にもまれようとしている地域の子育て支援・施設が存続の危機を迎えようとしていると報じ、更に厚労省幹部の発言として『『つくる』から保育所のあり方を『つくりかえる』視点が必要』との発言が引用されていました。



10年に満たずしてこの変化、この問題は熊本市、熊本県においても顕在化してくるのでしょう。すでに連盟では理事長はじめ執行部の方々が少子化をテーマとした長崎県への視察を昨年度実施しております。本連盟の先生方が問題意識を持って、すでに活動している事を心強く思う次第です。

今後も、熊本市保育園連盟が会員の皆様の意を汲み、東ね会員各園の運営の支えとなるよう、理事の先生方とともに更に活発な活動を重ねてまいりたいと思っております。

「ものを言う監事に」 熊本市保育園連盟 監事 松下 英信

上野新理事長の新たな体制を目指し、理事の職務の改善や、新人理事の登用が出来上がりました。理事として4年間のお手伝いを終え、これでお役御免と思っていましたら、総会承認で監事の大役を仰せつかりました。



さて、一般社団法人熊本市保育園連盟定款の第25条に、監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告書を作成するとあり、また、一般社団法人法第101条に、監事は理事会に出席し、必要があると認めるときは理事会で意見を述べなければならないこととされています。

この役割を考え、継続の岡監事と共に、長時間行われていた理事会が、もっと時間短縮を目指し、適切な協議を行い、スムーズな報告ができるよう、理事長を主に、業務執行理事の事前協議を求め、前向きな話し合いのできる理事会になるように、監事としての役目を果たせるよう努力します。そして、職務の執行を監査する監事ですが、「ものを言う監事」を目指し、理事の方々が、やって良かったと言える理事会となるよう努めてまいります。



「より楽しく、豊かな生き方へ」 女性部長 伊形 けい子

この度、女性部部長を拝命させていただき歴代部長の功績とその職責の重さに、私の小さな体は緊張が充満しています。

前部長の栢間先生には顧問として引き続き女性部の要職を受けていただき、役員に新任園長先生方も加わり、女性部らしい彩とりどりの新年度がスタートしました。



これまで先輩方が築いてこられた歩みと保育にかける熱い思いを大事にし、急速に変化していく社会状況に応じながら、女性部ならではの視点を持って活動を進めていきたいと思えます。女性部事業の一つとして、保育事業における職員の資質並びに地位の向上を図るための研修を行うことが挙げられています。

4年度は、「より楽しく、豊かな生き方」をテーマに、日本の伝統文化に触れたり、超高齢化時代を豊かに生きるヒントになるような研修を行っていきます。会員の皆様の思いや意見を聞き、会話が弾み心も弾む部として、微力ではありますが精一杯努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

「こんな、時代だからこそ前を向いて」 青年部長 吉本 大樹

令和4年度から熊本市青年部の部長を務めさせていただくことになりました、やまばとこども園、園長の吉本大樹と言います。こども家庭庁の創設や、公定価格の見直し、少子化による定員割れ問題、保育所・こども園が今後どうなっていくのか等、保育業界もスピードを持って対応していく事が求められると思います。その点を踏まえ、今後、青年部に求められる事、出来る事、青年部とは何かを考え、より魅力ある部に出来たら考えています。With コロナ…日本も経済を動かす方向で進んできています。コロナ感染予防は行いつつ保育園・こども園の行事等も通常の活動に戻していく時期ではないかと感じています。



青年部のテーマを『新たなる挑戦！』とし、調査広報委員会・企画研修委員会で協力し合い次世代の園長として運営に必要なスキルを磨き、職員の働きやすい職場環境、園児のすこやかな成長とは何かを考え、信頼される様、青年部研修等を通して、学べたらと思います。

諸先輩方の advice を頂きながら、日々成長していきたいと思います。調査活動、研修等にも是非協力頂けたらと思います。末尾になりましたが、青年部活動へのご理解ご協力ありがとうございます。今後とも、宜しくお願い致します。



7月の予定



まごまごキャンプ	7月2日(土) ～3日(日)	立田山野外保育センター (雑草の森)
理 事 会	7月5日(火)	熊本市国際交流会館 3F 国際会議室
食育実践研修会	7月6日(水)	熊本市国際交流会館 6・7F ホール
障がい児保育研修会	7月7日(木)	市民会館シアーズホーム夢ホール 大会議室
キャリアアップ研修 (食育・アレルギー対応Ⅱ)	7月9日(土)	くまもと県民交流館パレア 会議室 1
キャリアアップ研修 (保護者支援・子育て支援Ⅱ)	7月10日(日)	くまもと県民交流館パレア 会議室 1
園 長 会	7月21日(木)	市民会館シアーズホーム夢ホール 大会議室
キャリアアップ研修 (保健衛生・安全対策Ⅱ)	7月30日(土)	くまもと県民交流館パレア 会議室 1
キャリアアップ研修 (幼児教育Ⅱ)	7月31日(日)	くまもと県民交流館パレア 会議室 1